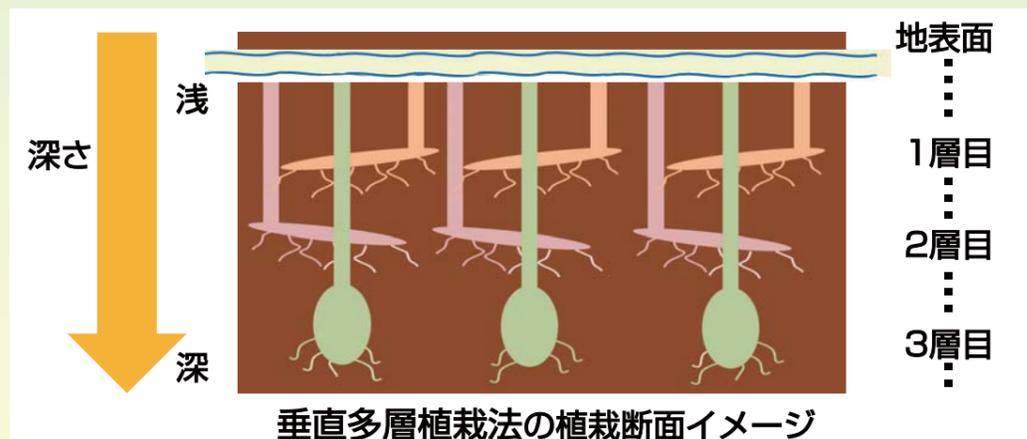


在来春植物による垂直多層植栽法の展示

東京都市大学環境学部環境創生学科田中章（ランドスケープ・エコシステムズ）研究室

✿ 垂直多層植栽法とは？ ✿

里山林床の地中構造を参考に、多年草の苗を複数の層に垂直に植栽する手法として田中教授が提案をしています。花期の異なる多年草を使うことで、時間経過により異なるお花畑の景観を作ることが出来ます。



✿ 展示紹介 ✿

早春の里山の森の中には、春植物（スプリング・エフェメラル、春の妖精）と呼ばれる美しい花を咲かせる多年草が生育しています。これらの植物は、人が定期的な維持管理を行っているコナラやブナなどの二次林の林床で、美しいお花畑の景観を形成します。

しかし、このような環境は、里山の開発に伴う消失、里山の木材利用の減少に伴うヤブ化などにより減少しており、日本全体の生物多様性の低下の主な原因になっています。今回の展示では、里山が育んだ在来春植物を用い、時間経過により移り変わるお花畑を再現しています。

展示の中で植えている在来春植物

※花期は横浜市でのおおよその目安です



フクジュソウ

Adonis remosa

花期：2月～3月



カタクリ

Erythronium japonicum

花期：3月～4月



アズマイチゲ

Anemone raddeana

花期：3月～5月



キクザキイチゲ

Anemone pseudoaltaica

花期：3月～5月



ニリンソウ

Anemone flaccida

花期：3月～5月



イチリンソウ

Anemone nikoensis

花期：4月～5月



ヤマブキソウ

Hylomecon japonica

花期：4月～6月

早春

春

初夏

